

草の根技術協力（地域活性化特別枠）事業概要表

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ベトナム国
2. 事業名	ベトナム国バクニン省フーラン村陶器生産者生活向上計画
3. 事業の背景と必要性	<p>ベトナム北部バクニン省にあるフーラン村では、昔ながらの技法で水瓶、甕具などの大型の陶器を製作しているが、陶器市場へ独自にアクセスするルートをもっていない為、陶芸従事者の収入は、北部陶芸地域の中では一番低い。さらに、周辺では、ガス窯での生産へのシフトという工業化の波が押し寄せており、伝統的な手作りの陶磁器文化が途絶えようとしている。市場には、類似の大型商品が溢れており、このまま同様の大物陶器製作を続けても、商品が無駄に余り、低価格化、かつ陶土の大量消費が続き、天然資源の永続的活用による、陶器生産の継続へ影響を及ぼしかねない。</p> <p>一方、近隣の地域への観光客が増加しているが、お土産としての商品、オリジナル性の高いものが少ない上、品質が高く、高価格のものも少ない。日本食の参入をはじめ、飲食業界が急激に活発化しているが、市場に出回っているものは、安くて品質の低いものが多い。ベトナムでの市場動向を推察すると、高品質・高付加価値の器を使った上級のサービスやしつらえが求められている。そのため、高い技術・技法、陶器についての知識を持つ陶芸家の育成と市場へのアクセスルートの確保が急務となっている。</p>
4. プロジェクト目標	フーラン村での伝統技術※1を持つ陶芸従事者が育成される ※1 地域にマッチした（材料、気候）より高い技術、技法、知識のこと
5. 対象地域	ベトナム国 バクニン省クエボ郡フーラン村
6. 対象地域を管轄する在外公館（大使館、領事館、領事事務所）	在ベトナム日本国大使館
7. 受益者層（ターゲットグループ）	フーラン村 陶芸従事者選出グループメンバー80名
8. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p>&lt;アウトプット&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 共同作業場が整備される</li> <li>2. 陶芸従事者がオリジナル製品を生産するための技術、技法を習得する</li> <li>3. フーラン焼マスター※2が独自の商品開発手法を習得する</li> </ol> <p>※2 当初80名のアウトプット2の活動を経たメンバーのうちリーダーとして選ばれた15名を指す</p> <p>&lt;活動&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1. PTとPCC協働で、共同作業場の陶芸制作環境を整備する</li> <li>1-2. PTとPCC協働で、共同作業場の管理・運営計画を策定する</li> <li>1-3. PTとGMの協働で薪窯を作る</li> <li>1-4. PCCとGMで資材（土、薪、土灰、木灰、藁灰等）を確保する</li> <li>2-1. グループメンバー（GM）を20名ずつに分け4グループを作る</li> <li>2-2. PTとPCCの協働で、1サイクル3か月の研修カリキュラムを作る</li> <li>2-3. PTとPCCの協働で、グループごとの全体スケジュールを策定する</li> <li>2-4. PTがGMに対し、3か月間の研修コースを実施する</li> <li>2-5. PTとPCC協働で1グループ目の研修コースの評価を行い、2グループ目の研修に反映させる（以後、各グループの研修後、同様の評価、振り返りの実施）</li> <li>2-6. 2-4を3サイクル実施する</li> <li>2-7. PTとPCCで協議し、80名の中からマスター15名を選出する</li> <li>3-1. PTとPCC協働でマスター講座のカリキュラムを策定する</li> <li>3-2. PTとPCC協働でマスター講座を開催する</li> <li>3-3. PTとマスターが協働で広報活動を行う</li> <li>3-4. マスターが講座修了作品を制作する</li> <li>3-5. PTとPCCの代表メンバー及びマスターが活動評価と将来ビジョンについてディスカッションする</li> <li>3-6. 東峰村とフーラン村の今後の活動計画を策定する</li> <li>3-7. フーラン焼の伝統的陶芸品の認定申請をバクニン省へ行う</li> </ol>
9. 実施期間	2021年8月～2024年8月（3年0ヵ月）
10. 事業費概算額	65,451千円
11. 日本側実施機関	東峰村、鬼丸雪山窯元、小石原焼陶器協同組合
12. 相手国側実施機関	バクニン省クエボ郡、フーラン村
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	提案自治体：福岡県東峰村、指定団体：有限会社 鬼丸雪山窯元
2. 活動内容	東峰村は、350年ほど続く伝統工芸品「小石原焼」、「高取焼」がいきづく陶芸の村であり、伝統産業として村としてこの産業を支えるまちづくりを進めている。